

# 平成 25 年度事務事業評価調査

事業コード	02080122	区分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	国民健康保険疾病予防事業	担当部署名	住民課		
		作成責任者職氏名	尾谷 肇	内線	310
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	02健康・福祉	08医療費の適正化	01健康管理対策の充実		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( 年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	村国民健康保険条例第8条		義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>健康の保持増進と疾病の予防、早期発見、治療の推進を図る。</p> <p>②内容</p> <p>契約医療機関で人間ドックを受診した場合、受診料の3割を保険者が負担する。 また、村内の医療機関で、若年層が自己負担3千円で受診できる。</p>	<p>30歳以上の被保険者(脳ドック40歳以上) 20歳から39までの被保険者(若年層)</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>健康の保持増進と疾病の予防、早期発見、治療の推進を図り、医療給付の減少に貢献する。</p>	

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	1,076	5,169		2,800	2,800			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	1,076	5,169	2,759	2,800	2,800			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,865	1,865	1,865	1,865	1,865		
総コスト費(千円)(A+C)	2,941	7,034	1,865	4,665	7,034			
人口あたりコスト(円)	477	1,141	303	757	1,141			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	受診人数(人間ドック)	人	130	78	60%	130	130
②	目標指標	受診人数(若年検診)	人	80	3	4%	80	80
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値)    64% / 2 = 32% (A)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	国民健康保険被保険者には、健康の保持増進のために貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	国民健康保険被保険者には、総合健康診断(人間ドック)では、疾病の早期発見、早期治療に効果があり、特定健診には、生活習慣病を支援することで効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	国民健康保険被保険者には、総合健康診断(人間ドック)では、指定された近くの総合病院の受診ができ効率できで、特定健診は、大阪府内の特定健診実施の医療機関で受診ができ効率は良い。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	人間ドックの検査費用の一部助成や特定健診受診の助成の実施を行っている。国民健康保険被保険者については、公平である。

○事務事業評価値 16 / 16 100% (B)  
(①~④の合計/16)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
32%	100%	66%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)
			<b>C</b>

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
<b>B</b>	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
平成24年度より、若年検診の創設、人間ドックの受診者負担額の軽減を行なった。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
住民の健康保持増進のため、また疾病予防のためにも必要であるとする。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
住民の健康保持増進のため、また疾病予防のためにも必要であるとする。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止